



WT



yuc1 yuc4 yuc6

C-Bio Seminar

[2015年5月20日 水曜日 15:00~16:00]
ゲノミクス研究棟2Fセミナー室

オーキシン生合成・不活化研究における最近の話題



笠原 博幸 博士

(理化学研究所・環境資源科学研究センター)

オーキシンは植物の成長と分化の様々な局面で中心的な役割を果たす植物ホルモンである。オーキシンの一種であるインドール-3-酢酸(IAA)は植物の細胞間を極性輸送されて濃度勾配を形成し、細胞伸長や細胞分化を調節することが知られている。植物におけるIAAの生合成経路は長い間不明であったが、Trpからインドール-3-ピルビン酸を經由して主に合成されていることが最近明らかになった。今回のセミナーでは、オーキシンの生合成・不活化機構に関する最近の話題を紹介する。